

「セコムパスポートforWeb」 au携帯電話 ご利用時の注意点

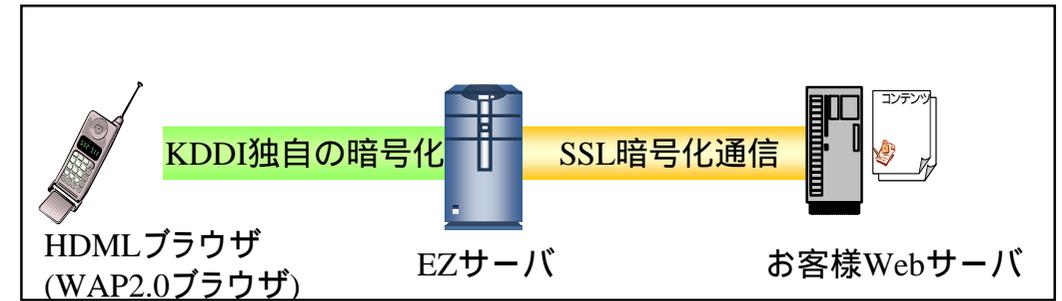
・本資料は、<http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/ssl.html>をもとに作成しております。詳細は本URLをご参照ください。

通信方式

End-to-End SSL



Link-by-Link SSL

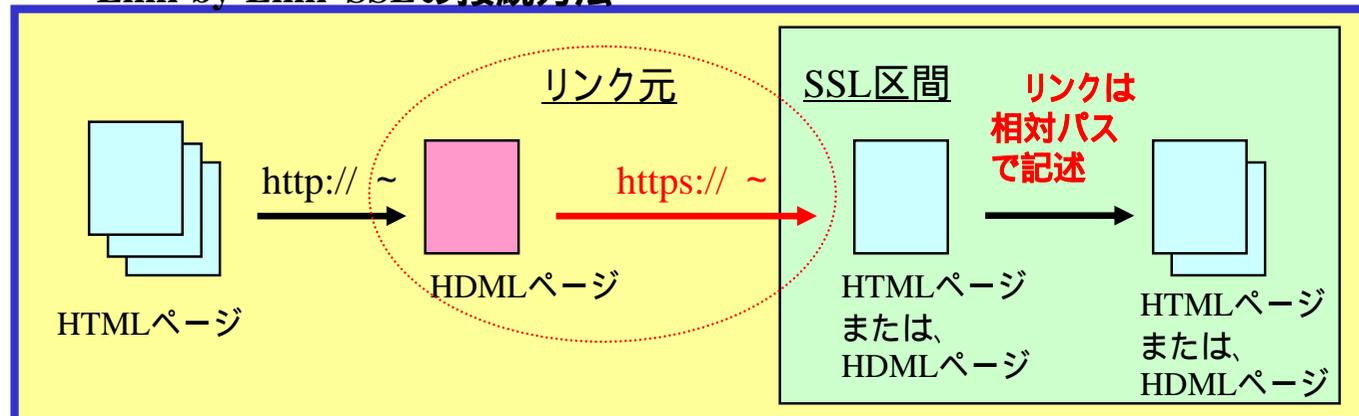


「リンク記述ページを受信したときのHTTP Response HeaderのContent TypeによりSSL接続方式が変わります。

- ・「text/html」または「text/vnd.wap.wml」 End-to-End SSL方式
- ・「text/hdml」 Link-by-Link SSL方式

WAP2.0携帯電話(添付リスト1の 印)に対応させる為には、Link-by-Link SSLになるようにSSLに入る前のリンク記述ページをHDMLで記述しなければなりません。

Link-by-Link SSLの接続方法



(ご参考)

Link-by-Link SSLは、携帯端末側の負荷が少なくEnd-to-End SSLに比べてレスポンスが良いので、強制的にこのSSL方式を取っているサイトもあります。

Link-by-Link SSLご使用時の注意点

(リンク元)のContent-Typeに気をつけてコンテンツを作成する必要があります。
尚、リンク元はhttpで通信可能なHDMLページとして作成してください。
また、SSL区間へは本ページからリンクを張るように作成してください。

・Link-by-LinkのSSL接続中にリンク指定をフルパス(https:// ~)で記述したり、一度、SSL区間から抜けて再度SSL接続する場合に非SSLのHDMLページを介さず、直接HTMLのページにSSL接続した場合にはエラーになります。

・SSL区間では、リンク記述は必ず相対パスで記述してください。

・携帯電話のお気に入りリスト、URLダイレクト入力、メール本文中のURLから入る場合、カレントページ(リンク元)のContent-typeはhtmlとなります。
お気に入り登録が可能なページは非SSLとする必要があります。

その他SSL利用における注意点

・SSLはTCPのポート443を使用しますので、Firewallを使用している場合には、このポート宛てのパケット、及びこのポートからのパケットを通すように設定してください。

・Webサーバの証明書が不正(認証局が不正、期限切れ等)であった場合や、テスト用の証明書であった場合には、エラーメッセージが表示され通信を行うことができません。

・WebサイトのURL(端末からのリクエストURL)と証明書に記載されたFQDNが異なる場合には通信を行うことができません。

・WEBサイトのURLにIPアドレスを使用することはできません。

・SSLの実装において、HandShakeProtocolの「ServerCertificate」などのOptionを省略すると正常に通信できない場合があります。

・WAP2.0搭載端末では、「リンク記述ページのHTTP Response Header Content-type」が「text/html」もしくは「text/vnd.wap.wml」であり、リンク先が「https:// ~」と記述されているコンテンツから、当該リンク先へジャンプする場合、リンク先のコンテンツがHDMLで記述されていると表示できません。

・WAP2.0対応端末の場合、「HTTP Response Header Location Field」によるリダイレクトでSSLを使用したHDMLコンテンツを表示することはできません。